高学年（小学校５・６年生）

2026 年度

手紙の書き方 体験授業

双方向同期型

©JAPAN POST Co., Ltd.
※ぽすくまは日本郵便のキャラクターです。



夏のお便りの書き方 指導書

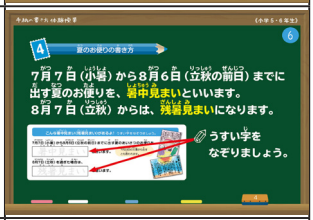
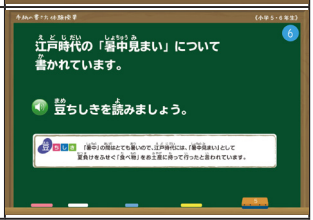
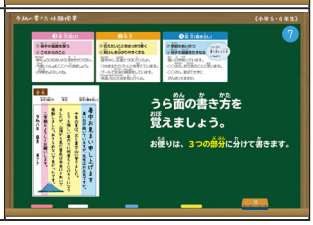




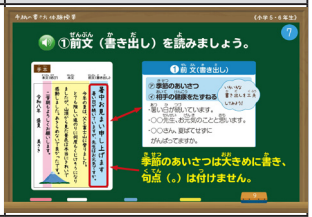
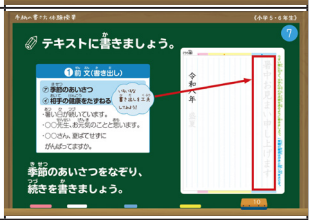
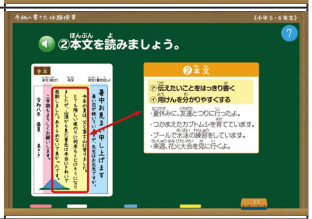
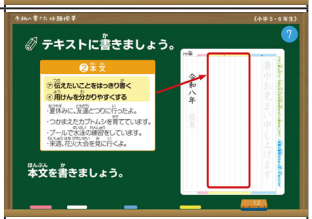
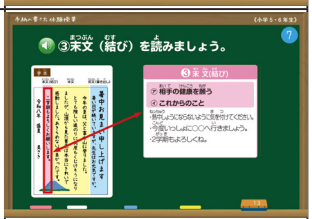
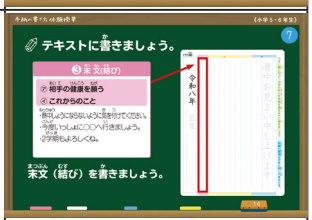
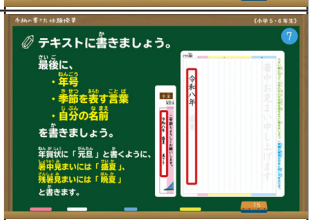
1. 対象学年	高学年（５・６年生）
2. 配当時間	１時間　＊実態に応じて実施する。
3. ねらい	①夏のお便りの書き方について知る。 ②夏のお便りを書く練習をする。 ③実際にはがきに書き、投函する。

手紙の書き方体験授業

※オレンジ文字は双方向同期型の留意点です。

時間（分）	発問・指示	留意点	画面
0～2	今日はこの「手紙の書き方 小学校５、６年生用」のテキストを使って、学習します。 そして、学習した後に、実際に夏のお便りを書いてみます。 テキスト、はがき、筆記用具を出しましょう。 使うものをたしかめていきます。 同じものを先生に見せてください。	Google Meet や Zoom で児童がミーティングに参加していることを確認する。 テキスト、はがき、筆記用具を見せる。	
2~5	画面の絵を見ましょう。 夏休み、みなさんは何を楽しみたいですか。 自然観察、お祭り、名所めぐり … 他にもたくさんありますね。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。 ２、３人指名して確認する。	
5~7	色々な夏のお便りが書かれています。 どんなお便りを書きたいですか。 はがきに書いて、伝えたい人に送りましょう。		
7~9	6 ページを開きます。 切手の 4「夏のお便りの書き方」 7 月 7 日、小暑から　8 月 6 日、立秋の前日 までに出す夏のあいさつのお便りを「暑中見舞い」といいます。 8 月 7 日の立秋からは「残暑見舞い」になります。 うすい字をなぞりましょう。	書けているかどうか、画面で確認する。	
9~10	江戸時代の「暑中見舞い」について書かれています。 豆知識を読みましょう。 「暑中見舞い」は、お便りではありませんでした。	読んでいるか確認する。 ミュートになっていないか確認する。	
10~12	ほかにもいろいろな夏のお便りがありますね。 だれにどんなお便りを送っていますか。 テキストのはがきを読んでみましょう。 QR コードから、ほかの夏のお便りも見ることができます。	各自で読ませても、指名して読ませてもよい。 準備し、QR コードからの作品は教師が見せてもよい。	
12~14	あなたはどの絵をかきたいですか。 〇で囲みましょう。 QR コードから、ほかの絵を見ることができるよ。	〇で囲んだことを画面で確認する。 どの絵を選んだか、発表させてもよい。 QR の絵は教師が紹介してもよい。	
14~15	7 ページ、「暑中見まいの文章の書き方」 はがきのうら面の書き方を覚えましょう。 お便りは、３つの部分に分けて書きます。	テキストの場所を画面で確認する。	

手紙の書き方体験授業

時間（分）	発問・指示	留意点	画面
15~16	①前文（書き出し）を読みましょう。 説明と手本を読みます。 季節のあいさつは大きめに書き、句点（。）は付けません。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
16~18	前文をテキストに書きましょう。 季節のあいさつをなぞり、続きを書きます。	書けているかどうか、画面で確認する。	
18~19	②本文を読みましょう。 説明と手本を読みます。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
19~24	本文をテキストに書きましょう。 手本を参考にして書いてもいいです。	書けているかどうか、画面で確認する。 書けない児童にはアドバイスする。	
24~25	③末文（結び）を読みましょう。 説明と手本を読みます。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
25~27	末文をテキストに書きましょう。	書けているかどうか、画面で確認する。	
27~29	最後に、年号、季節を表す言葉、自分の名前を書きましょう。 年賀状に「元旦」と書くように、 暑中見舞いには「せい夏」、 残暑見舞いには「ばん夏」と書きます。 手本のように、少し下げて書きましょう。 その下に自分の名前を忘れずに書きましょう。	正しく書けているか、画面で確認する。	
29~40	それでは、本物のはがきに夏のお便りを 書いてみましょう。 テキストを見ながら丁寧に書き写しましょう。 空いたところに夏らしい絵を描き添えると 素敵なお便りになりますね。 表面の宛名の書き方は テキストの１０ページ、１１ページに出ています。 書けたらポストに入れてやり取りを楽しみましょう。	書けない児童には、アドバイスし、書き写しの時間をとる。 書けたかどうか画面上で確認する。 授業の感想を交流させる。	

はがきの表面『あて名の書き方』は「手紙の書き方」授業用コンテンツのページにありますのでそちらをご活用ください。